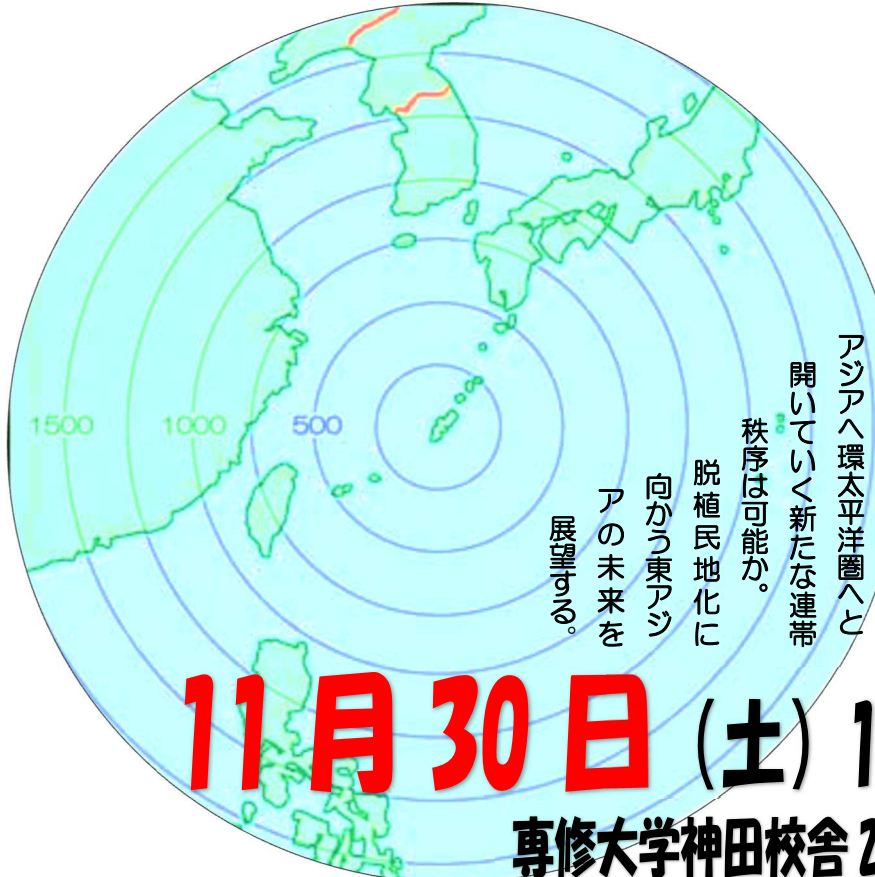


11.30 シンポジウム

脱植民地化に向かう東アジアの未来



東アジアの戦後秩序が、音を立てて崩れようとしている。朝鮮半島の分断体制を揺るがす

韓国シムンヘン革命は、日米の軍事植民地

支配からの脱却をめざす沖縄の自立

解放闘争―国境を突き抜け、

アジアへ環太平洋圏へと

開いていく新たな連帯

秩序は可能か。

脱植民地化に

向かう東アシ

アの未来を

展望する。

11月30日 (土) 13時半

専修大学神田校舎2号館204教室



李 泳采 (イ・ヨンチュェ) さん

1971年、韓国全羅南道に生まれる。恵泉女学園大学教員。専門は日韓・日朝関係。著書に『なるほど！これが韓国か』(朝日新聞社、共著)『韓流がたえる現代韓国「初恋」からノ・ムヒョンの死まで』(梨の木舎)『IRIS』でわかる朝鮮半島の危機』(朝日新聞出版)ほか。監訳に『朴正熙 動員された近代化―韓国、開発動員体制の二重性』(彩流社)などがある。



田仲 康博 (たなか やすひろ) さん

1954年、沖縄に生まれる。国際基督教大学元教員。専門は社会学、メディア、文化研究。著書・共著に『風景の裂け目 沖縄、占領の今』『占領者のまなざし 沖縄/日本/米国の戦後』『沖縄に立ちすくむ』『メディア文化の権力作用』(せりか書房)、『超える文化、交錯する境界』(山川出版)『空間管理社会』(新曜社)『文化の社会学』(有斐閣)『イモとハダシー占領と現在』(新曜社)ほか。

- 出席 李 泳采 (日韓・日朝関係研究)
- 田仲 康博 (メディア・文化研究)
- 司会 伊吹 浩一 (専修大学)
- 資料代 500円 (学生無料)
- 会場 専修大学神田校舎2号館204教室



主催 11.30 シンポジウム実行委員会 (呼びかけ：沖縄文化講座)

連絡 ☎090-7287-1968 伊吹